

- ・平成30年第4回帯広市議会（定例会）
- ・平成29年度決算審査特別委員会質問内容と趣旨（質問者：岡坂忠志）

□10月2日（火）

【教育費】関係

1. 障害がある方などへの図書館サービスについて

視覚に障害がある方などに対する図書館サービスの現状と課題解決に向けた取り組みを中心に質問しました。

平成28年6月から始まったサピエ図書館事業は、視覚に障害がある方等を対象にデジタル録音図書等の貸し出しができるサービスですが、残念ながら現在までの利用者は1人とどまっています。その理由として、日本で3番目の点字図書館として開館した「北海点字図書館」が既に同様のサービスを実施していることなどが挙げられていましたが、このことは始めから分かっていたことであり、利用拡大に向けた取り組みを関係各課・団体と連携して進めるよう求めました。

同じように障害がある方々への図書館機能として、対面朗読のための「朗読サービス室」、文字を音声に訳し録音するための「録音室」、視聴覚資料を編集する「視聴覚資料編集室」があります。これらの部屋は構造上一体利用としているため、録音室が使われている場合、朗読サービス室が使えないという問題を抱えています。3部屋合わせた利用実績は平成29年度で168回を数えていることから、バッテリーへの対応策について質しました。

現状として、朗読サービス室等の3部屋は、対面朗読をする団体・個人と視覚等に障害がある方をサポートするボランティア団体に限定して利用しており、対面朗読を希望する場合、まずは朗読サービス室を利用することになりますが、他のボランティア団体が利用している場合は、研修室など他の空いている部屋を提供し、可能な限り利用いただけるよう対応しているとのことでした。

こうした図書館としての対応は理解しつつも、図書館の利用促進のため、これからも利用者の声に耳を傾け、利用を阻害している障害を取り除く努力を求めました。